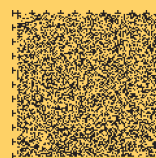




表紙デザイン作者：スケノアズさん（イラストレーター、和歌山県紀美野町在住）

今号の
注目記事

- ・講座レポート：1・2・3
- ・男女共同参画啓発ポスターコンクール最優秀賞
- ・フォトレポート：スケノアズさん“自分らしく暮らす”
- ・「みんなに男女共同参画」提案事業



センターニュースりいぶるはSPコードにより文字情報を提供しています。情報は専用の読取装置で読み上げます。



コロナ禍が浮き彫りにした男女格差 ～ジェンダーの視点から考える～

日程：令和3年10月2日（土） 会場：“りいぶる” 会議室 A
講師：市場 恵子さん（社会心理学講師・カウンセラー）



コロナ禍で生活が大きく変化するなか、DV、性的暴力、女性の自殺者や失業者の増加など女性の窮状が明らかになってきました。このことを受け、コロナ禍による男女格差を検証し、コロナ収束後に男女格差を縮めて平等を実現するにはどうすればいいかを考える講座を開催しました。

講師は、女性に飲食や宿泊などのサービス業に就いている人が多く、仕事が減少したこと、非正規雇用や短時間労働等の働き方が多いため、特に女性に負の影響が大きいのだと説明されました。また、女性の自殺者は令和2年10月の前年同月比で約8割増に、DV相談件数も令和2年4～9月前年同期比で約2割増加し、より深刻化していることを示されました。DVの根底に性別役割分担意識があることもあらためて指摘され、課題解決への身近な声を意思決定の場に届けるためには、女性の議員を増やすことが必要だと話されました。

最後に、ジェンダー問題は社会全体で取り組むべき課題で、社会を変えるためには、私たちも現状を知って声をあげることが大切だと述べられました。「コロナ禍を“ピンチはチャンス”ととらえ、アフターコロナに、もっといい社会が来ると信じて進んでいきましょう。」と講師からエールを送られ、力を得た講座となりました。

参加者の声「元気になりました!! 難しい課題、テーマだけれど、市場先生がお話してくださると、分かりやすく、前向きに考えられるようになるから不思議です」「差別をなくすための社会の実現に向けて希望をもつことができました」

“シンデレラからアナ雪まで”

プリンセスストーリーから読み解く! 「女らしさ」の呪縛 in 和高専

日程：令和3年12月15日（水） 会場：和歌山工業高等専門学校
講師：鳥淵 朋子さん（アクト研究室代表）



和歌山工業高等専門学校と協働して開催した講座で、女子生徒を対象に無意識のうちに社会が求める「女らしさ」ととらわれず、自分の生き方を自己決定し、自分らしい生き方をするためのきっかけとなるよう企画しました。絵本や映画で馴染みがあるディズニープリンセスを題材にし、その生き方や描かれ方を通して、小さい頃から刷り込まれた「女らしさ」や「女性像」など自分のジェンダーバイアス※1に気づくとともに、メディアリテラシー※2を知ることでジェンダーの視点で様々なものを観察できるように学びを得ました。

講師は、「女らしさ」から連想するものからジェンダーへの気づきを促した後、メディアリテラシーについて説明し、実際の映画の映像を観ながらプリンセスの生き方について解説されました。

最後に、講師は「みんなちがっていい。愛のかたちも多様。自分らしく生きることは、時には自分の心と闘うことかもしれないが、女性だからというストッパーは今の時代は無用。チャンスをつかんで夢を実現して欲しい。」と励まされました。

参加者の声「生きる上で大切なことを学びました。自分が今から生きるのに、ポジティブに、冒険心をもって、前を向いていきたいです。」「プリンセスを例にあげ、とても分かりやすかった。自分の考え、視野を広げられました」

※1…男性像・女性像など社会的性差による思い込みからの偏見

※2…メディアの情報を主体的に読み解き、活用し、メディアを通してコミュニケーションする能力

「多様な性を知ろう」～身近な人からのカミングアウト～

日程：令和4年1月16日（日） 会場：橋本市教育文化会館
講師：いわたに てるこさん（カラフルチャイルド代表）

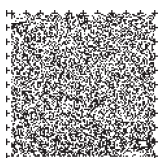


人口の約8.9%の割合でいるといわれる、性に違和感を感じる人たち（LGBTs※1）について知り、身近な人からのカミングアウト※2をどう受けとめるかを学びました。

LGBTsに関する基礎知識についての説明があり、性自認※3や性の指向※4は多様であることを教わりました。講師は子供からカミングアウトされた体験をとおして、自分の子供への喪失感やショックと混乱、否認、自責など「親の心理的葛藤」について解説されました。子供のカミングアウトを受け入れられた背景には、子供の性の違和感を幼少期から感じ、心づもりがあったこと、セクシュアリティ※5に関する教育を受ける機会があったこと、そのことを話せる場があり否定的な事を言われた経験がほとんどなかったことをあげられました。そして当事者は、基本的安全感や安心感がもちにくい、差別的な言動による傷つき、自己尊重感が低く強い自責感や罪悪感を感じるなどの心理的問題を抱えていることや、取りまく厳しい環境について指摘され、当事者から相談された時は、「よく話してくれたね」などの言葉かけや、支援者として偏見や差別をもたない、許可なく他の人に言わない、寄り添う気持ちを忘れないことが大切としめくられました。

※1…L＝レズビアン（女性が女性を好きになる、女性の同性愛者）、G＝ゲイ（男性が男性を好きになる、男性の同性愛者）、B＝バイセクシュアル（好きになる性別を選ばない両性愛者）、T＝トランスジェンダー（戸籍上の性別と自認する性別が違う）sは複数のs ※2…知られたくないことを公表すること。性自認や性の指向などを公言すること

※3…性の自己認識。自分の思う性別。こころの性 ※4…好きになる性。どの性別を恋愛対象とするのか ※5…性の自己自認、性表現・性役割。生物学的性、性的指向





保育つき読書の時間

日程：令和3年10月28日・12月2日（木）

場所：“りいぶる”図書・交流スペース

育児中の方を対象に、保育スタッフに生後6か月～就学前までのお子さんを預け、図書・交流スペース等でゆっくり読書に親しんでもらおうと、11年前から毎年、数回実施している事業です。かつて子育て期に、「少しでも本を読む自分の時間があればリフレッシュできるのに」と思ったスタッフの体験から生まれた企画で、今なお好評を得て継続しています。眺めのいい席で読書の時間をどうぞ！



ぬいぐるみお泊り会

日程：令和3年12月11日（土）
図書室案内ツアーと寝かしつけ
12日（日）お迎え

場所：“りいぶる”図書・交流スペース、一時保育ルーム

参加者からお預かりしたぬいぐるみが、“りいぶる”に泊まって、閉館後の図書・交流スペースで本を探したり、読書を楽しんだり、読み聞かせをしたりと冒険するようすを写真に撮り、それぞれのアルバムを作成してプレゼントする事業で、年齢問わず大人も子供も楽しんでもらえ、来年度の開催を望む声も多く聞かれました。



シアター Café “りいぶる”

「スキャンダル」鑑賞会

日程：令和3年12月5日（日）

場所：“りいぶる”会議室A（鑑賞会）会議室B（交流会）

年に数回、映画のDVD鑑賞会と、鑑賞後その感想などを話し合う交流会を開催しています。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、ミニ交流会とし短時間で開催しましたが、活発な意見が出され映画への理解が深まりました。

※映画の内容は、本誌5ページの「“りいぶる”図書室」のコーナーを参照してください。



「TUNA ガール」鑑賞会とミニ講座

日程：令和3年12月26日（日）

場所：“りいぶる”会議室A



クロマグロの完全養殖を成し遂げた近畿大学水産研究所を舞台に、明るいがオッチョコチョイな女子大生が夏合宿を通して成長していく姿を描いています。鑑賞後のミニ講座では、和歌山県水産職員の2人から大学での研

究や卒業後の進路について具体的なお話がありました。

また、同映画の安田真奈監督のサプライズ登場もあり、「どんな経験も無駄になることはない。人生設計で悩むことはあるが希望を持って前に進んでください」と学生へエールを送ってくださいました。



安田真奈監督
「TUNA ガール」© 吉本興業／NTT ぷらら

「みんなに男女共同参画」提案事業を実施しました！

この事業は、男女共同参画をすすめる企画を公募し、採択されたものを各団体が運営して実施するものです。今年度も5団体が採択され、さまざまな事業が開催されました。開催日順にP2～P6で紹介します。



「性」「らしさ」について考えてみよう

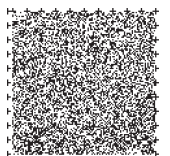
企画・運営：LGBTと愉快的な仲間たち

- ① 令和3年11月3日（水・祝）交流センター「太田の郷」（那智勝浦町）
- ② 令和3年11月27日（土）和歌浦芸術区（和歌山市）



東京ドキュメンタリー映画祭2020において短編部門グランプリ受賞作の映画鑑賞とトランスジェンダー当事者によるトークライブを開催しました。

参加者からは『今の日本でこんなにもトランスジェンダーとして生きていくことが大変だということを知りました。』『みんなが当事者。自分ごととして捉えることが大切だと思いました。』などの感想が寄せられました。



「男女でつくる元気な和歌山」ポスターコンクール最優秀賞

《小学生低学年の部》



高田 りん さん（海南市立中野上小学校3年）

おめでとうございます!!



《小学生高学年の部》



山本 順太郎 さん（和歌山市立高松小学校6年）

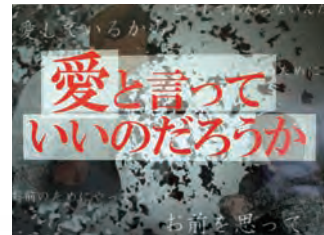
《中学生の部》



橋本 モモ さん（和歌山信愛中学校2年）



《高校生の部》



あいる 碧琉 さん（和歌山市立和歌山高等学校2年）

りいぶるフェスタ

令和3年11月20日（土）和歌山ビッグホエール

晴天に恵まれた週末、ブースでは、ポスターコンクールの入賞作品展示をはじめ、来場者への啓発グッズ配布などを行い、多くの方々に賑わいました。



ご来場、ありがとうございます！



11月12日～25日は
「女性に対する暴力をなくす運動」期間です



パープルリボンキャンペーン

11月12日（金）～25日（木）



女性への暴力根絶を願って、啓発ポスターやDVに関するポスターを掲示し、図書の特設コーナーを設置しました。また、来館者のみなさんも、暴力に関するメッセージを書いたり、白いツリーにパープルリボンを飾ったりして、みんなでキャンペーンを盛り上げてくれました。ご協力ありがとうございました！

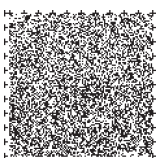
親子で手作りみそ教室

企画・運営：わかやま City Club

令和3年12月19日（日）和歌山市中央コミュニティセンター

みそ作り教室を親子（父親と子供）で実践してもらい、家族一丸となって楽しく料理などの家事に取り組む体験をしてもらいました。

参加者からは、「本当に楽しかった。また参加したい。」という声や、今まで家事に参加したことがないという父親からは、「これから料理を手伝いたい。」などの感想が寄せられました。





キャリアデザイン講座 男女共同参画ワールド・カフェ（オンライン開催）



日程：令和3年10月23日（土）

講師・ファシリテーター：金川めぐみさん（和歌山大学経済学部教授・男女共同参画推進室長）

オブザーバー：本庄麻美子さん（和歌山大学経済学部キャリア教育担当講師）

男女共同参画の視点を入れた将来のビジョンが持てるよう、大学生と県女性活躍企業同盟参加企業等の社会人らが参加し、本音ミーティングを開催しました。「私の未来想像シート」へ自分の将来設計を記入し、そのあと、ミニ講座で、講師が男女の平等度の低さ、賃金格差の大きさ、育休取得率や育児時間の差など日本の男女共同参画の現状を解説し共通認識をもちました。続いて、オンライン上で小グループに分かれ、ワールド・カフェ形式*で『男女でどのような違いや共通点があるか』や『自分の理想の未来の実現のためにはどうすればいいか』について話し合いました。全体共有では「性別に関係なく自分の生きたいように生きられる社会であってほしい」や「就職先には、仕事と子育てや家庭、趣味など、生活のバランスがとれるよう制度の整った会社を選ぶことが大事」など、将来、希望するワーク・ライフ・バランスをイメージした発表がありました。

※ワールド・カフェ…小グループで席替えをしながら議論を深めていく手法のワークで、あたかも参加者全員で話し合っているような効果がある。



【金川先生から学生へのエール】

- ・自分とは違う他者の考え方を通して多様性を学び、社会を変革するのは若い人自身である。
- ・仕事の「軸」をつくるのが大事。
- ・困ったときは他者に助けを求めてもよい。



キャリアデザイン講座～しなやかに成長するキャリアをめざして～（オンライン開催）



日程：令和4年2月18日（金）

講師：藤崎 葉子さん（キャリア・ディベロップメント・アドバイザー／女性労働協会認定講師）

現在就労している若手女性従業員を対象に、さまざまな問題を乗り越え、自分らしく・楽しく・豊かに長く働き続けるために、未来の自分のキャリアについて考えようと実施しました。講義、個人ワーク、グループ討議が組み合わされた講座で、自分の未来をシミュレーションし、シートに記入することで将来の計画を具体化することができました。

ステップ1では、キャリア形成のポイントとして、1 仕事に集中できる時にしっかり「キャリア貯金」をする。2 少し先のキャリアについて考える。3 人生に関わる3大要素のマネジメントを説明されました。3大要素とは、“タイムマネジメント”、“マネーマネジメント”、特に上司との関係が重要だとする“関係者マネジメント”で、これらは長く働き続けるコツだと話されました。

ステップ2では、ワークを通して自分自身を振り返り自分の強みを棚卸ししました。これには、自分の自信や自尊心、エネルギー、楽観性や回復力、人生への展望等が高まる効果があるとのことでした。

そして、周囲の期待と自分の役割について考えるステップ3では、Can＝自分の強み・知識・経験、Must＝周囲から求められること、Will＝未来の理想像の3つのポイントを説明され、自己確認したうえでWillを起点にCanとMustを回転させると理想的な状態になると話されました。最後に、未来の自分を考えながらキャリアプランを作成し、そのためのアクションプランをワークシートに【ワーク】【ライフ】両面から具体的に記入していききました。

講師からは「未来は『来る』ものではなく『創る』もの」とメッセージが送られ、自分自身をきちんと見直し、将来のキャリアを前向きに捉える考え方や力をもらった講座となりました。

参加者からは、「自分の未来について具体的に考える機会となり、やりたいことが見つかりました。」や、「自分の強みが明確になったので、その強みを仕事に活かそうと思いました。」など前向きなお声が届きました。



思春期の性を親子で学ぼう ～知ることによって自分をもっと好きになる～

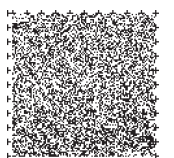
企画・運営：SAYHELLO.WAKAYAMA

- ① 令和3年12月19日（日）“りいぶる”会議室C
- ② 令和4年1月23日（日）（オンライン開催）



性について、思春期の子供に家庭内でどのように伝えたら良いかわからないという悩みを解消するためのワークなどを開催しました。

参加の保護者からは「性の話を通じて、子供がどんな事を思ったり考えているのが少し分かりました。」などの感想がありました。



自分らしく暮らす～紀美野町～

表紙イラストレーター

スケノ アズサさんのお宅に
おじゃましました!

スケノさんご夫婦は、田舎暮らしがしたいと、夫の助野彰昭さんのふるさと紀美野町へ。

天井の梁に歴史を刻む古民家を住み心地よく改装し、工夫を凝らして、自然の中でのびのびライフを満喫!



緑の頃のおうちの周辺
2頭のヤギも家族の一員



〈玄関〉
温かみのある松や
オガジェがお迎え

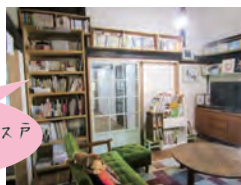


〈仕事をするスケノさん〉
ステンドガラスの窓が
いいアクセント



〈リビングからダイニング〉
大きな薪ストーブがリビングを
見渡すようにデザイン座る

郵便局から譲り受けたガラス戸
のレトロ感がキュート



〈彰昭さんの本屋さん〉
OLD FACTORY BOOKS
海南市旧田島うるし工場内



夢だった初の絵本「うみのハナ」が出版され、ますます活躍が期待されるスケノさん、仕事も生活も自然体で、まさに自分らしく暮らしておられるのが魅力的でした。

“りいぶる” 図書室

☆スタッフおすすめ図書☆



「海をあげる」



著 者：上間 陽子
出版社：筑摩書房

沖縄の日々の生活を幼い娘のかたわらで、強く静かに綴ったエッセイ集。沖縄で未成年の少女たちの支援、調査に携わっている著者は、沖縄で起こっている性暴力、若者たちの離家、また基地の隣で暮らす人々の怒りや悲しみを静かな筆致で伝える。沖縄といえば美しい海や観光地を連想するが、私たちは事実から目をそらしてはいないだろうか。題名に込められた著者の想いを受けとめねばと思う。

「ミステリと言う勿れ」



著 者：田村 由美
出版社：小学館

探偵役の大学生の久能 整 が、事件を解決していくミステリコミック。しかし、その結末にたどり着くまでには、さまざまな人間模様や登場人物のそれぞれの立場からの心情が表現されていて、「ミステリ」というジャンルに収まりきらない不思議な魅力をもつ作品。あちこちにちりばめられた感性豊かなセリフにもご注目!

作者は本県出身で、平成 25 年度和歌山県文化功労賞受賞。

DVD 「スキャンダル」



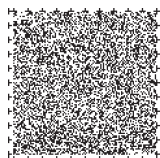
監 督：ジェイ・ローチ
2019 年アメリカ・カナダ

2016 年にアメリカで実際に起こった、女性キャスターへのセクハラ騒動を題材にした映画。元人気女性キャスターのカールソンはテレビ局の CEO のエイルズから性的関係を強要されていた。それを拒否したカールソンは、左遷されたためエイルズを提訴する。その告発をきっかけに、同じ被害にあった大勢の女性たちが声を上げていく様子は圧巻である。

ローカル線に彩 (い3どり) をプラス! ~鉄道を動かし、社会を動かす~

企画・運営：にじいろトレインの会

令和 4 年 1 月 29 日 (土) “りいぶる” 会議室 A で開催
する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染
拡大状況を踏まえ、中止になりました。





SDGs（エス・ディー・ジーズ）を知ろう！ ④

10 人や国の不平等をなくそう



達成目標 目標 10：各国内及び各国間の不平等を是正する

ターゲット

- 10-1 2030 年までに、各国の所得下位 40% の所得成長率について、国内平均を上回る数値を漸進的に達成し、持続させる。
- 10-2 2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。
- 10-3 差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、並びに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。
- 10-4 税制、賃金、社会保障政策をはじめとする政策を導入し、平等の拡大を漸進的に達成する。
- 10-5 世界金融市場と金融機関に対する規制とモニタリングを改善し、こうした規制の実施を強化する。
- 10-6 地球規模の国際経済・金融制度の意思決定における開発途上国の参加や発言力を拡大させることにより、より効果的で信用力があり、説明責任のある正当な制度を実現する。
- 10-7 計画に基づき良く管理された移民政策の実施などを通じて、秩序のとれた、安全で規則的かつ責任ある移住や流動性を促進する。
- 10-a 世界貿易機関（WTO）協定に従い、開発途上国、特に後発開発途上国に対する特別かつ異なる待遇の原則を実施する。
- 10-b 各国の国家計画やプログラムに従って、後発開発途上国、アフリカ諸国、小島嶼開発途上国及び内陸開発途上国を始めとする、ニーズが最も大きい国々への、政府開発援助（ODA）及び海外直接投資を含む資金の流入を促進する。
- 10-c 2030 年までに、移住労働者による送金コストを 3% 未満に引き下げ、コストが 5% を越える送金経路を撤廃する。

*ターゲットとは「いつまでに、何を、だれが、どのようにして取り組むか」という具体的な達成項目を表したものです。

外務省 HP より



ダイバーシティを受容することが大事なんじゃないよ

最近、ちょっと“気になる” この言葉

～おしえて！ フクロウ博士！～



◆ダイバーシティ

「多様性」のこと。性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会といいます。

◆クォータ制（割当制）

積極的改善措置（ポジティブ・アクション）の手法の一つであり、人種や性別などを基準に一定の人数や比率を割り当てる制度のことをいいます。

（内閣府男女共同参画局 用語解説より）

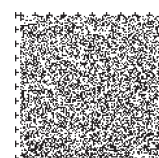
未婚女性の未来を語ろう ～おひとりさまの住まい、相続、老後～

企画・運営：特定非営利活動法人和歌山 e かんぱにい

令和 4 年 2 月 13 日（日）（オンライン開催）

未婚女性にスポットをあて、生涯の住居、老親の看護と介護、相続、老後の資金など今後の人生設計を考えるための講座を開催しました。

参加者からは『年金定期便の見方や老後の必要経費の計算など、具体的に分かりやすかったです。』などの感想がありました。



☆来年度も提案事業を募集する予定です。ふるってご応募ください！（詳細は 4 月以降の“りいぶる”HPに掲載）

自分を大切にするために…。 “りいぶる” 相談室
相談受付専用ダイヤル **073(435)5246**

相談は無料。専門の相談員がお話をうかがいます。予約については、希望者本人に限ります。秘密は厳守します。ナンバーディスプレイは使用していません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に男女共同参画相談員が応じます。

電話相談

○火○水○木○金○土○ 9:00～20:30
(受付は20:00まで)

○○○○○日 9:00～17:00
(受付は16:30まで)

面接相談【予約制・女性のみ】

○火○水○木○金○土○ 9:00～17:30
(受付は16:30まで)

○○○○○日 9:00～16:00
(受付は15:00まで)

女性のためのカウンセリング

女性が抱えるこころの問題に女性カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

○○○金○○○ 13:00～15:40
※第2・第4金曜日

予約制(匿名可)、各日3人まで。
相談時間は1人40分。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

月3～4回 13:00～14:50

※日程は“りいぶる”まで
ご確認ください。

予約制、各日3人まで。
相談時間は1人30分。

男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に男性相談員が応じます。

○水○○○○○ 16:00～20:00
(受付は19:30まで)

※毎月第2水曜日
予約優先(匿名可)
相談時間は1人40分程度

性暴力について
相談したい…

性暴力救援センター和歌山 マイン わかやま mine

(和歌山県立医科大学附属病院内)

◆相談受付専用ダイヤル

オーエンキューキュー
073-444-0099

- ・電話相談 24時間365日
(但し、22時～翌朝9時と年末年始はコールセンターでの対応となります)
- ・緊急医療 24時間365日

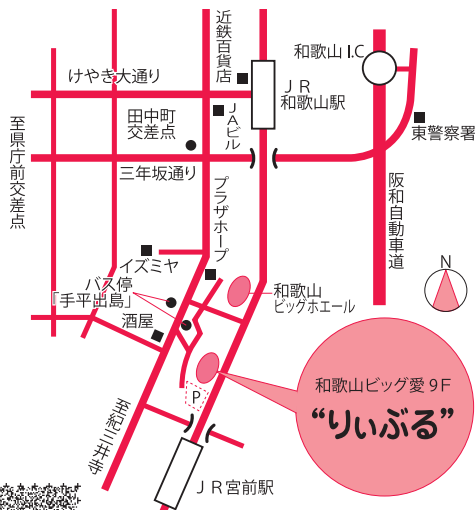
こころとからだの回復のために、女性支援員が細やかな支援を行います。
ひとりで悩まずに相談してください。



☆表紙デザインについて☆

作者のスケノアズサさんは、美大を卒業後、似顔絵作家として活動。新婚旅行で世界一周し、その時出会った山岳民族の暮らしに憧れ、帰国後、和歌山県紀美野町に移住。現在、毎日新聞にてイラストコラム「カントリースケッチ」と育児4コママンガ「ペコモコちゃん」を連載中。2019年大桑文化奨励賞、2020年第21回ピンポイント絵本コンペ最優秀賞を受賞。

表紙のイラスト：雨といえば少し寂しかったり、静かなイメージだったりしますが、春の長雨も、こんなきらきら光るドロップスの雨なら、きょうだいを楽しくわくわくさせてくれそうです。詩人まどみちおさんの「ドロップスのうた」に着想を得た作品。“りいぶる”はフランス語で「自由な(libre)」という意味で、センターの愛称です。



◆発行 和歌山県男女共同参画センター “りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

TEL (073) 435-5245

FAX (073) 435-5247

《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp

開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時

日曜：午前9時～午後5時30分

休館日 月曜・祝日

年末年始(12/29～1/3)

りいぶる 検索

フェイスブックも更新中♪

一企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山eかんぱにい